

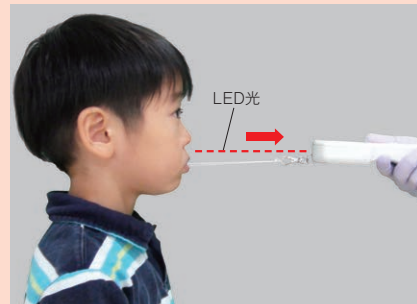
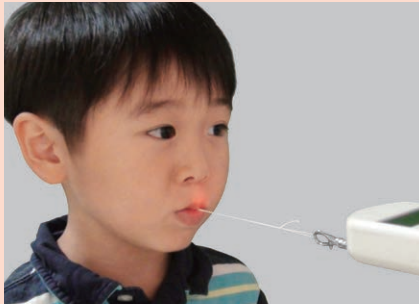


口唇閉鎖力測定時の大切な条件

りっぷるくんは測定時の「引っ張る方向の不一致」と「測定開始位置」のバラつきを少なくした測定器です。

✓ 測定時の「引っ張る方向」による誤差をできるだけ少なく

「りっぷるくん」は測定軸の上部に患者さんの鼻下点付近に光を照射するLEDを備えています。測定の際にLED光を患者さんに照射し、LED光が測定開始から測定終了までほぼ同じ位置に照射されることを確認しながら測定が行え、測定時の「引っ張る方向」による誤差をできるだけ少なくしました。(特許出願中)



✓ 毎回同じ位置で測定が可能な「りっぷるボタン」

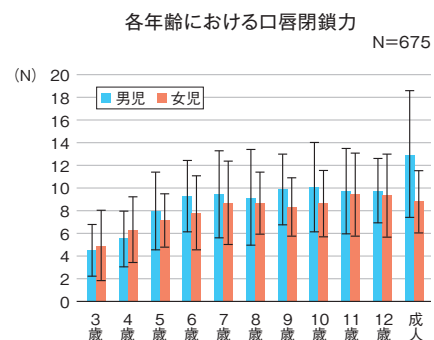
測定ボタンが同じ位置に装着され、毎回同じ条件で測定することが重要です。

「りっぷるボタン」は特殊な形状により、歯列状態にかかわらず口唇による保持が容易で、複数回の測定でも安定して同じ位置から測定が可能です。(特許出願中)



測定管理、トレーニング

「りっぷるくん」で測定後、その結果について保護者や患者さんへ説明し、測定に使用したボタンによる口輪筋のトレーニング方法を指導することで、口唇閉鎖力を向上させることができます。繰り返しトレーニングをしてください。



資料提供：日本小児歯科学会臨床研究推進委員会より



測定方法

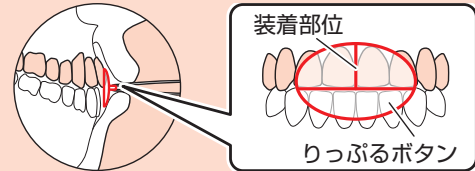
- 1 イスに座らせて背筋と頭部を真っ直ぐにのばし、正しい姿勢にします。



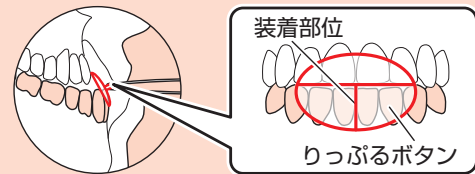
- 2 「りっぶるボタン」にデンタルフロスを通して輪状に結び、「りっぶるくん」に装着します。



- 3 「りっぶるボタン」を口腔前庭に装着し、リセットボタンを押します。



上顎中切歯と口唇の間に装着



下顎前突の場合は「りっぶるボタン」を上下逆に装着

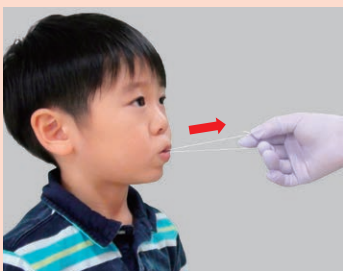
- 4 LED光を確認しながら口腔外に「りっぶるボタン」が引き出されるまで牽引して測定します。



- 5 複数回 (3回程度) 測定します。

口輪筋のトレーニング方法

口唇閉鎖力の弱い患者さんは「りっぶるボタン」でトレーニングを行うことで、口輪筋が鍛えられます。



口腔内から引き出される寸前の力で、デンタルフロスを前方に引っ張ります。

※りっぶるボタンを用いたトレーニングは、施設内で歯科医師もしくは歯科衛生士立ち会いのもとで行なってください。